

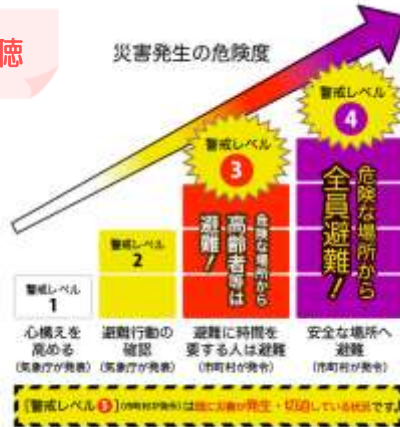
調布市防災教育の日

令和6年4月27日

1 校時 防災映像《水害編》視聴

普段から、家族の人と避難について話し合い、いざという時に備えよう！

- 避難場所への行き方
- 途中にある危険な場所
- 避難のタイミング
- ◎避難カードを自分たちで作る



大雨警戒レベルレベル4までに必ず避難

警戒レベル	取るべき行動	避難情報	警戒レベル対応情報
5	命の危険直ちに安全確保	緊急安全確保	大雨特別警戒*
4	危険な場所から全員避難!	避難指示	土砂災害警戒情報*
3	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨・洪水警戒*
2	避難行動の確認		大雨・洪水注意報*
1	心構えを高める		早期注意情報

学校や地域で行われる防災訓練には、どんな危険があるかを考えながら、真剣に参加しよう！
 実際体を動かして覚えたことはいざという時に生きてくる！



水害は決して
 他人事ではない
 自分の身は
 自分で守る！

2 校時 道徳 いのちの授業

生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する

1年生 東日本大震災発生時、地元の写真スタジオで撮影アシスタント兼デザイナーとして働いていたあいしまさん。

震災直後から遺影写真の依頼を受け、笑顔になれない子ども達とも出会い、その出会いは今でも忘れることができないでいる。震災を経験した子どもたちは何歳になったのか、笑って過ごせているのか、今でも考えると言う。「ずっとしまっていた」体験を、10年の節目に漫画で描いたあいしまさん。その記憶や感情を漫画で伝えるることにより、多くの命が犠牲になった震災を今後も考えて欲しいという思いが込められている。

2年生 東日本大震災の時に、大切な家族と思いの詰まった家を流されてしまった大槌町在住中学2年生黒沢菜緒佳さんの書いた作文「バイバイ」を読んだ。あたり前にある今の幸せや、命は決して失われてはならないものであること、そして人は一人で生きられない、周りの人たちへ感謝の気持ちや支え合うことが大切ということを知る機会となった。



道徳

現実を受け止め
 辛さや悔しさを
 乗り越え、前に
 進もうとしている

命の大切さ
 助け合うことが大事

何気ない
 あたり前の
 日常が大切
 感謝♪



先月の八中の卒業式で3年生が流した涙には、充実した3年間の思いや多くの人への感謝の気持ちが込められていました。

梶原くんの涙には・・・+悔しい思いが・・・その思いを胸に梶原くんは、中学校卒業後、岩手県の国立一関高等専門学校に進学し、5年間土木工学を学び、現在は地元に戻って地盤改良の仕事に取り組んでいるそうです。「地面を丈夫にしてるんだぜ!!って同級生に胸を張って言えるかな～」と数年前のテレビで笑顔で答えていたそうです。

3年生「気仙沼市立階上中学校卒業式」は、震災翌日に行われる予定でしたが、10日後の3月22日に行われました。「天を恨まず」は、卒業生代表の梶原裕太さんが語った答辞の中の言葉です。わずか15歳前後の少年が歯を食いしばりながら最後まで立派に読み上げた答辞の言葉は、まだどう受け止めたら良いのか分からなかった大人にも、力強いメッセージとなって語りかけました。

***卒業式答辞・卒業生代表の言葉*「天を恨まず」**

本日は、未曾有の大震災の傷も癒えない最中、わたくしたちの為に、卒業式を挙げていただきありがとうございます。

ちょうど、10日前の3月12日、春を思わせる暖かな日でした。わたくしたちは、そのキラキラ光る日差しの中を、希望に胸を膨らませ、通いなれたこの学舎を、57名揃って巣立つ筈でした。

前日の11日。

一足早く渡された、思い出のたくさん詰まったアルバムを開き、10数時間後の卒業式に、思いを馳せた友もいたことでしょう。「東日本大震災」と名づけられる、天変地異が起こるとも知らずに・・・

階上中学校といえば「防災教育」といわれ、内外から高く評価され、十分な訓練もしていたわたくしたちでした。しかし、自然の猛威の前には、人間の力はあまりにも無力で、わたくしたちから大切なものを、容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには、むごすぎるものでした。辛くて、悔しくてたまりません。時計の針は、14時46を指したままです。でも、時は確実に流れています。

生かされた者として、顔を上げ、常に思いやりの心を持ち、強く、正しく、たくましく生きていかなければなりません。命の重さを知るには、大きすぎる代償でした。しかし、苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合って生きていく事が、これからの、わたくしたちの使命です。

わたくしたちは今、それぞれの新しい人生の一步を踏み出します。どこにいても、何をしようとも、この地で、仲間と共有した時を忘れず、宝物として生きていきます。後輩の皆さん、階上中学校で過ごす「あたりまえ」に思える日々や友達が、いかに貴重なものかを考え、いとおしんで過ごして下さい。

先生方、親身の御指導、ありがとうございました。先生方が、いかにわたくしたちを思って下さっていたか、今になってよく分かります。

地域の皆さん、これまで様々な御支援をいただき、ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。

お父さん、お母さん、家族の皆さん、これからわたくしたちが歩いていく姿を見守っていて下さい。必ず、よき社会人になります。

わたくしは、この階上中学校の生徒でいられたことを誇りに思います。

最後に、本当に、本当に、ありがとうございました。



平成 23 年 3 月 22 日 第 64 回卒業生代表 梶原 裕太

11:00

地震発生⇒避難訓練⇒引き渡し訓練

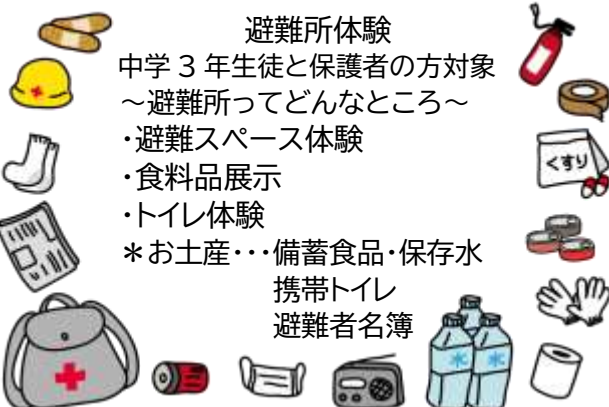


開錠・施錠方法確認
特設公衆電話設置方法確認



発電機の模擬設置訓練確認

防災備蓄倉庫確認



避難所体験
中学3年生徒と保護者の方対象
～避難所ってどんなところ～
・避難スペース体験
・食料品展示
・トイレ体験
*お土産・・・備蓄食品・保存水
携帯トイレ
避難者名簿

